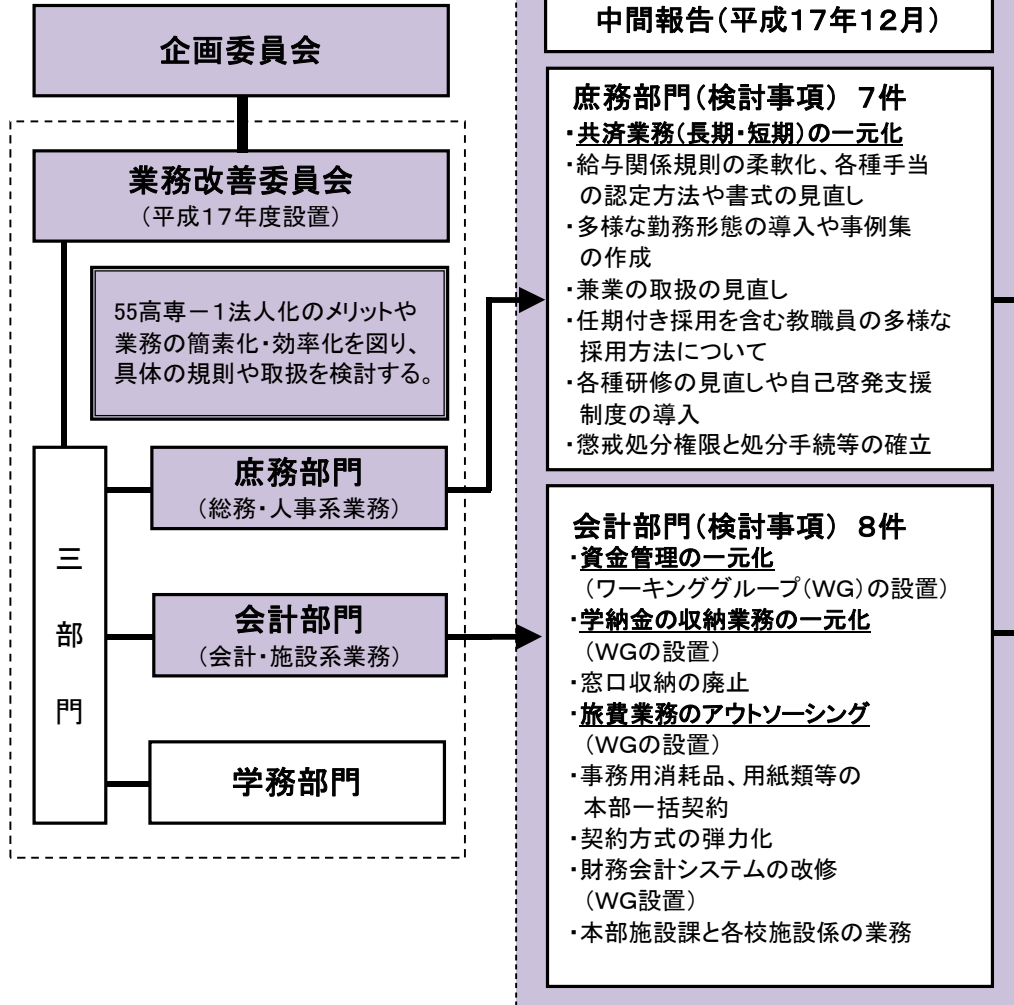


国立高専機構における業務一元化

中期計画

- 法人としてのスケールメリットを生かし、事務の効率化・合理化を図る
- 財務会計管理、人事管理、給与管理について一元的な共通システムを構築する



事務センター設置準備室 (平成18年度設置)

- ◎ 共済事務・人事給与システム一元化プロジェクト
 共済支部一元化係、人事給与システム一元化係、事務情報システム係
- ◎ 支払・収納・旅費一元化プロジェクト
 経理一元係

本部管理課 (平成19年度設置)

- 共済業務** → 55高専の共済支部を廃止し、高専機構1支部に統合 (平成19年4月 運用開始)
 一元化の成果: 機構全体で業務時間数が約48%減
 共済システム維持費を約300万円削減
- 人事給与業務** → 55高専の給与計算、給与支給、各種手当の認定、年末調整等を本部に集約 (平成19年10月運用開始)
 一元化の成果: 機構全体で業務時間数が約17%減
 電子計算機借料を約18,000万円削減
- 支払業務** → 55高専の支払業務を本部に集約
 運営費交付金を対象に運用開始 (平成19年4月)
 人件費開始 (平成19年10月)
 外部資金を含め全体一元化開始 (平成20年4月)
 一元化の成果: 機構全体で業務時間数が約23%減
 振込手数料を約1,500万円削減
- 収納業務** → 55高専の授業料、寄宿料、預り金等を本部において一元的収納 (平成20年4月 運用開始)
 一元化の成果: 機構全体で業務時間数が約11%減
 資金管理により利息収入が1,500万円増
- 旅費業務** → 55高専の旅行者によるWebからの入力、本部集中計算方式を導入 (平成20年4月 運用開始)
 一元化の成果: システム維持費を約900万円削減
 日当・宿泊地等の見直しにより6,500万円節減

検証プロジェクト (平成20年度設置)

- 共済業務、人事給与業務 (平成20年11月28日検証報告)
- 支払業務 (平成21年 3月 5日検証報告)
- 旅費業務 (平成21年11月30日検証報告)
- 収納業務 (平成22年 2月26日検証報告)